

「診療放射線技師を目指す学生のための医用X線CT工学」正誤表

ページ	行・図・表	誤	正
19	2	CT装置	X線CT装置
19	下から6	CT装置	X線CT装置
34	表7.1	回転速度	架台回転速度
34	表7.1「回転速度」欄のすべて	sec	sec/回転
34	下から9	通常のX線管のものと同様で、	(左記削除)
35	1	被写体の周辺部	これは被写体周辺部
35	2	均一化することと、	均一化することを目的としている。また両端に鉛などを配置し
35	3	調整することがそのおもな目的	調整することも、もう一つの目的
36	1, 9	回転架台	架台回転部
39	下から12	している、入力信号	している入力信号
42	7	まではスイッチを押せば	までを押せば
42	9	架台内部にもあり、	架台内部にあり、
42	下から5	被写者	被検者
42	下から4	眼球への被ばく低減を	OMラインを正確に合わせる
43	8	ばく射	照射
58	下から4	体軸平行	体軸に平行
70	図11.8		(図中のグラデーション部分を90°回転)
73	下から8	まともな画像	診断に適切な画像
78	9, 10	D	L
88	表13.2 (右記追加)	(5)ノイズ・平均CT値および均一性 (6)空間分解能	1ヵ月に1回以上 3ヵ月に1回以上
90	5	フィルム撮影	レーザーイメージャの画像
90	下から11, 10, 7	イメージャ	レーザーイメージャ
106	2	線源	線減
106	7	それぞれの管球が違う管電圧として	二つのX線管が違う管電圧で
108	1	聴器	聴覚器

①

最新の正誤表がコロナ社ホームページにある場合がございます。
下記URLにアクセスして[キーワード検索]に書名を入力して下さい。
<http://www.coronasha.co.jp>